

パラリンピックを応援しよう!



9/5 (日)まで開催される東京 2020 パラリンピック。マレーシア代表選手たちの活躍にご注目ください!

9/3 (金) 出場予定
女子 S4
背泳ぎ 50m
9:00~11:35
17:00~21:00



ブレンダ・アネリア・ラリー選手

マレーシア選手団は前回のリオ大会で3つの金メダルを獲得し、今回の東京大会でも、水泳のブレンダ選手をはじめとしてメダルが期待される選手が多くいます。三芳町の皆さんも、ぜひマレーシアのパラリンピアンを応援をお願いします。



マレーシアパラリンピック委員会 会長 ダトゥ・シリ・メガット・D・シャーリマン

メダルが期待される選手

パラリンピックに出場する22人のマレーシア代表選手から、メダルが期待される2人を紹介します。選手全員の情報は町ホームページをご覧ください。



陸上 男子 100m T36 (立位・脳性まひ)

モハマド・リズアン・ビン・モハマド・プジ 選手

主な受賞歴：2018年アジアパラ競技大会 金メダル など

出場予定

9/3 (金) 19:00 ~ 21:55 9/4 (土) 9:30 ~ 12:40



練習の様子

バドミントン 男子シングルス SU5 (上肢障がい)

チェア・リク・ハウ選手

主な受賞歴：2020年ペルーパラバドミントン国際大会 金メダル など

出場予定

9/1 (水) 18:00 ~ 22:00 9/2 (木) 9:00 ~ 21:00
9/3 (金) 9:00 ~ 21:00 9/4 (土) 9:00 ~ 21:00



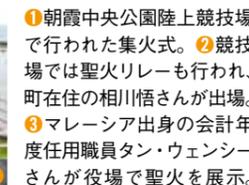
練習の様子

パラリンピックの 聖火がやってきました!



ランタンに
灯した
聖火

8/19 (木)、役場にパラリンピックの聖火がやってきました。県内各地でおこした火を集火式でひとつに集めた後、分火した「埼玉のパラリンピック聖火」の一部です。分火した中の一部は東京都へ運ばれ、国内880か所以上とイギリスのストーク・マンデビル (パラリンピックの原点となった地) で採火された火と一緒に、ひとつの聖火になりました。



※役場での聖火の展示は終了しています。

Together 共に、未来へ。



共に、未来へ。

「Stronger Together」試合を終えたサンネ選手は自身を支えてくれた人へ感謝の想いを込めて、この言葉を語りました。オリンピックのモットーである「より速く・より高く・より強く」に今大会から「共に(Together)」が加わりました。コロナ禍が続く中、アスリートを支えたコーチや家族、そして、声援を送る人々。どんなに遠くにいたとしても、心は一緒にいる。そのことが選手たちの強さの源となっています。

ソーシャルディスタンスを保ちながら行った今回の事前キャンプ。その距離に関わらず、大きく手を振り合う子どもたちと選手の表情は笑顔で満ちあふれていました。たとえ離れていても心を通わせることができるのは、私たちが持つ大きな力の一つかもしれません。

心の距離を縮めて、多くの人を支えあい、共に生きる——。それが、誰もが生き生きと暮らせる町への第一歩となることでしょう。

離れていても笑顔で交流!

距離をとっての交流でしたが、選手たちが笑顔で手を振ってくれてうれしかったです。オリンピック直前の気迫に満ちた練習を見て、私もそんな選手になりたいと思いました。

淑徳大学女子柔道部 主将 一色美緒さん



Letter from Nederland



三芳町の皆さん、オランダの女子柔道チームを迎え入れていただき、ありがとうございました。おかげでサンネ選手は銅メダルを獲得し、テシー選手はけがを乗り越えてオリンピック出場を果たすことができました。皆さんにあたたかく迎えていただいたことが、選手たちにとって大きな力となりました。またお会いできるのを楽しみにしています。

オランダ柔道連盟 会長 テッサ・ブラウワー



【画像】「オランダ柔道連盟ホームページ」から引用